



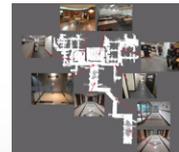
ユニポスで取扱い実績のあるSLAMデバイス をご紹介します

SLAMとは？

Simultaneous Localization and Mappingの略で、デバイスが自身の位置の推定と周囲の環境地図を同時に作成する技術のことを指しています。ロボット掃除機のように部屋の中を自動で動くロボットやAR/MRにおけるHMDの位置推定、また自動運転などの大規模なテーマでも利用されている技術です。



VR HMD Oculus Riftに
ZED Miniを装着



LDS-01による
建物内のマッピングイメージ



AR/MR ロボット搭載

■ Intel RealSense Tracking Camera T265

- ・インサイドアウト方式トラッキングデバイス
- ・163±5° という広範囲の視野をカバー
- ・1.5Wという省電力でV-SLAMを実現可能



ロボット搭載

■ 360 Laser Distance Sensor LDS-01

- ・LIDAR式の360度 2D距離センサ
- ・サンプリングレート1.8kHzで、0.12~3.5mの範囲を測定
- ・ROS対応



AR/MR ロボット搭載

■ Structure Core

- ・赤外線ツインカメラデプスセンサ
- ・SLAMに適した視野160° のモノクロカメラ
- ・グローバルシャッタータイプ



ロボット搭載

■ RPLIDAR A3

- ・高精度のスキャンが可能なLIDARセンサ
- ・最大16,000回/秒のサンプリングレート
- ・半径最大25mの360度範囲を測定可能



AR/MR

■ ZED Mini

- ・VR HMDと合わせMRやARを実現可能なデプスカメラ
- ・視野範囲最大110°
- ・最大2.2Kの高解像度映像出力 (4416×1242@15fps)

今回ご紹介いたしましたのは取扱い実績のある製品の一例です。他にもご希望のSLAMデバイスがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

UNIPOS 今月のユニポスおすすめ商品

Donkey Car Starter Kit



ラジコンカー向けDIY自動運転プラットフォームキット

ラジコンカーなど小型自動車向けのオープンソースのDIY自動運転プラットフォーム「Donkey Car」をすぐに利用することができる、必要なパーツ一式が揃った入門キット。

Donkey Carについて

Pythonで書かれた自律運転ライブラリとカメラ付きのRaspberry Piを搭載したラジコンカーを、スマートフォン等で複数回操縦し、蓄積した運転データを元に作成した学習モデルにより、ラジコンカーが自律的に走行するようになります。



海外製品調達 ユニポスと
研究用PC製作 テグシスのコラボ案件

電子に関する計算プログラムと それを利用するための数値計算用マシン



■ FEFF9

XAFS, XANES 等のX線吸収スペクトル第一原理計算プログラム



■ WIEN2k

固体の電子構造計算プログラム

それぞれユニポスでも取扱い実績のある、物質科学や物理学などの分野で用いられる計算プログラムです。こういった専門的な計算のためのマシンのご提案もテガラの得意とするところです。ご予算に合わせた効果的な構成をご提案します。

この用途に限らず



専門的な分野における計算や解析用のマシンの導入でお困り・ご検討の際はぜひテガラにご相談ください



ピックアップ 新着情報

ユニポス

研究開発者向けレンタルサービス tegakariのラインアップに「RealSense T265」を追加しました

2019.3.12 新着情報追加



NEW!
tegakari -テガカリ
レンタルラインアップ追加

ユニポスの人気商品を7日間無料で借りられるサービス「tegakari」のレンタル対象デモ機ラインアップにIntel RealSense Tracking Camera T265 を追加しました。

3月にリリースされたばかりの大人気の新製品をお試しいただけます。

レンタルをご希望のお客さまは、ユニポスWEBページの「予約する」ボタンからお申し込みください。

予約する

